

平成26年度第1回川崎市青少年科学館協議会摘録

日 時 平成26年6月11日(水) 午前10～12時

会 場 かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館)自然学習棟2階 学習室2

出席者(敬称略)

- (1) 委員 (教育職員) 新井正明、(社会教育) 中山純史、(公募市民) 渡邊敬三、服部公俊
(学識経験者) 山上明、勝山輝男、洞口俊博、木場英久、(家庭教育) 有北郁子
- (2) 事務局 島田館長、國司担当課長、大泉、川島、弘田、黒瀬、小鍛治(生田緑地運営共同事業体)
- (3) 傍聴者 0人

凡例 発言者について

□□: 委員、○○: 事務局員(青少年科学館職員)

1 開会

事務局より、開会告知、傍聴者受入(定員10人)、記録(録音及び筆記)作成及び会議記録公開について周知

2 協議会委員委嘱状・委任状交付

3 館長挨拶

4 協議会委員及び職員紹介

5 会長・副会長選出

- ・立候補者なし
- ・事務局からの提案(会長: 山上委員、副会長: 中山委員)について、協議会承認
- ・会長については山上委員、副会長については中山委員が務めることが決定

以下、山上会長が議事進行

6 **議事1** 平成25年度事業評価について

渡邊 「平成25年度事業評価表」について「達成度」が入っていないところ(科学、学校支援関係の項目)がある。

大泉 全て3とする。

渡邊 市内の小中学校に科学館だより等の広報物を配布しているのか。

小鍛治 科学館だよりについては、市内の全小中学校に配布している。

渡邊 これらの情報をコンパクトにまとめたものについて、科学館から学校に対し自動的かつダイレクトに発信するネットワークを構築するとよいと思う。紙版よりコストもかからないし、関心のある人の閲覧に止まるホームページより効果的と思う。

服部 土日と平日の利用者数はどれくらいか。

國司 プラネタリウムについて、土日は100～200人くらい、平日の一般投影は100人くらいと思

う。

(事務局補足：平成 25 年度における 1 日ごとの平均入館者数については平日 630 名、土日祝日 1,580 名、同プラネタリウム 1 投影ごとの平均観覧者数については平日 89 名、土日祝日 139 名でした)

勝山 入館者数はどのように調べているのか。

國司 入口に設置したセンサーによる。

勝山 25 年度決算額が予算額を相当額下回ることとなった理由を説明してほしい。

黒瀬 リニューアル開館 2 年目を迎え、プラネタリウム観覧者数が前年度比で減少に転じたことにより、25 年度歳入予算の査定時点（平成 24 年度中）で見込まれた額とかい離が生じたものである。

勝山 プラネタリウム学習投影においてはある程度人数を限定して行う方が教育効果的によく、現時点ではほどよい人数で実施できている旨説明があったが、評価シートにおける「今後の課題」の記載のとおり利用促進を図ることで、教育効果や観覧者の快適性が損なわれないか。

國司 これまで観覧の機会のなかった人々に広く周知していきたいという意味である。

(事務局補足：雨天時など観覧者数が定員を大幅に下回ることもあるため、このことに向けた対応の意味もあります)

木場 評価表「管理運営」、(2)「組織体制」の「諮問機関」については、自らのことを評価する形になっており、非常に作業しにくいと前年度に協議会委員から指摘があったが、引き続き評価項目として残すのか。

黒瀬 本項目に関するコメント「平成 25 年度事業評価表」については、次項目「市民・利用者の参画による運営の仕組み」を中心に策定いただき、「諮問機関」についてよほど計画と異なる状況がある場合に限り、コメント追加、評価点修正をいただく形でお願いしたい。

(事務局補足：「諮問機関」については「組織体制」の一部として不可欠であるため、評価項目として残す形としたいと考えます)

会長 評価表「今後の課題」について全項目入力されているが、無理に入れられていると思われるものもあるので、今一度見直してほしい。また、「達成度」についても今一度見直してほしい。また「平成 25 年度計画」が今年度の目標と考えてよいのか。加えて「中長期計画」は参考と考えてよいのか。

黒瀬 評価表の見直しについて了解した。また、「平成 25 年度計画」については、「中長期計画」の流れの中で設定されているものであり、当該年度の目標である。

会長 前年度評価表と異なる部分を明示してほしい。

黒瀬 了解した。

洞口 「平成 26 年度事業評価表」及び「十年計画表」についても、同様をお願いしたい。

黒瀬 了解した。

渡邊 評価策定に向けたスケジュールは。

黒瀬 次回協議会までに各委員評価を取りまとめた上で、メールのやり取りを通して、年内にとりまとめたい。

渡邊 評価表において理解できない部分等について各委員から問合せがあった場合、全委員宛に当該質問及び回答に関する情報提供をしてもらえるのか。

黒瀬 その予定である。

7 議事2 平成26年度事業評価について

会長の説明依頼に基づき、管理担当から説明

- 黒瀬 ①「事業計画」について、教育普及事業以外の各事業の具体的取組を追加した。
②「事業別予算」については、運営管理事業予算の用途等を示したものである。
③「十年計画表」については、平成33年度までの計画について現時点での見直しを行ったものである。
④「平成26年度事業評価表」については、これまでの評価、実績等を踏まえ、「中長期目標」及び「年度計画」を修正したものである。
⑤「事業計画書」については、指定管理者が作成したもので、参考資料として配付する。
「平成26年度事業評価表」について、ご意見等あればお願いしたい。

有北 「事業計画表」で示されたベビー&キッズアワーの実施回数22回は、追加投影を含めた数か。また、前回の協議会で今年度から月2回に増やすという話を聞いたが。

國司 実施回数に追加投影見込数は含めていない。また、好評につき、今年度から実施回数を月2回に増やすこととした。

有北 科学館だよりにおいて、ベビー&キッズアワーの記事を探し出しにくい。この行事があること自体を知らない人も多いので、現在館内のみで配布されているチラシの市内子育て支援センター等関係施設への配布拡大により、周知促進を図ってほしい。

渡邊 「十年計画表」に示された「アストロテラスでの観測結果等を反映した企画展」が、「事業計画」に示されていない。

國司 「事業計画」においても明記する。

渡邊 「十年計画表」に示された「中学校理科作品展」は新規事業か。

大泉 「中学校理科作品展」については、市民ミュージアムにて行っている同事業の科学館版を考えているが、現時点では実施決定に至らないため「事業計画」には記載しないこととした。

渡邊 「事業計画」と、「十年計画表」の記載が一致してないように感じる。

大泉 「事業計画」においては、実施決定したもののみ記載することとした。

渡邊 予算が減少している中で新しい事業を行うことは、科学館の意欲と取れ、非常に重要なことと思うので、このことをPRしてほしい。

有北 一昨年「たまたま子育て祭り」において実施した科学実験について、今年度は実施するのか。

國司 現時点では未定である。

有北 一度結びつきができた事業について継続参加しながら、他団体との連携関係構築を進めるようにしてほしい。

國司 サマーミュージアムなど他団体との連携事業や観光協会との連携も含め、努力したい。

有北 今後のスケジュールにおいて、第3回協議会の事業視察を、予定(12~1月)より前倒しにしてほしい。また、期間の幅を取ってもらえると、多くの委員が参加しやすくなると思う。

黒瀬 了解した。

新井 中学校理科部会では総会の会場として科学館を利用している。一方、「中学校理科作品展」の科学館実施については、非常に多くの作品が展覧されることとなるため、実施会場として手狭な印象であるが、一部優秀作品を限定的に展示するということであれば実施可能と思う。この他、教育課程研究会の今後の会場として、科学館を選択肢の1つと考えている。中学生の利用については通常のカリキュラムには含まれていないが、校内の人員が不足しが

ちな修学旅行実施時においては対象学年以外の生徒の利用も考えられるので、これらの誘致に向けた対応を考えてもらえるとよいと思う。

服部 「ワクワクドキドキ玉手箱」の実施について、館内で行うものと外部で行うものの比率はどうなっているか。

大泉 「ワクワクドキドキ玉手箱」を使用した事業総数は172回となっており、出前事業の多くは事業委託により行っている。

(事務局注：昨年度のワクワクドキドキ玉手箱関連事業について、館内で行う事業の割合は46%、外部で行う事業の割合は54%でした)

服部 玉手箱を使用できる団体が限られていると聞いたが、どうなのか。

大泉 学校団体から要望があれば貸出を行っている。

会長 先ほどにも指摘があったが、「十年計画表」と「平成26年度事業評価表」に整合が取れていない点について、修正をお願いしたい。

黒瀬 先ほどご指摘のあった点も含めて修正作業を行いたい。

会長 「平成26年度事業評価表」の「中長期計画」「平成26年度計画」については、年度末に確定ということによいか。

黒瀬 修正を要する事項等あれば、年度末までに随時ご指摘いただきたい。

8 その他

(1) 次回協議会について

先ほどのご指摘も踏まえ、第2回、第3回協議会については、前倒し開催とし、第3回協議会についてはある程度幅を持たせて開催することとしたい。また、平成25年度事業評価については、年内確定に向けた作業協力をお願いしたい。

(2) その他

9 閉会

会長より閉会告知